

2019年度 第 51 期 事 業 報 告

(2019年1月1日 ~ 2019年12月31日)

1. 会員の状況

会員数 2019年12月31日現在
第1種正会員 31名
第2種正会員 59社
合 計 90

2. 役員等の状況

①役員の変動

監事の変動 佐藤裕氏が辞任し高橋輝夫氏が就任

②役員数

会長1名 副会長1名 専務理事1名 常務理事1名 理事8名 監事2名 計14名

3. 会議

①総会

第51期定時総会	ホテルメトロポリタン盛岡 本館	2019.02.25
第1号議案	第50期事業年度事業報告及び決算について	
第2号議案	第51期役員報酬限度額について	
第3号議案	役員の変選について	
報告事項	1)第51期事業計画及び予算について 2)公益目的支出計画実施報告書の提出について 3)設立50周年記念事業について	
臨時総会	一般社団法人計量計測技術センター 事務所	2019・04.25
第1号議案	定款の変更について	

②理事会

第1回	ホテルメトロポリタン盛岡 本館	2019.02.06
第1号議案	第50期事業年度事業報告及び決算について	
第2号議案	公益目的支出計画実施報告書について	
第3号議案	第51期事業計画(案)及び予算(案)について	
第4号議案	第51期役員報酬限度額について	
第5号議案	第51期借入金限度額について	
第6号議案	新規入会会員の承認について	
第7号議案	役員(監事)の変選について	
第8号議案	第51期定時総会の開催について	
報告事項	業務執行状況の報告	
その他	設立50周年記念事業について	

第 2 回	ホテルメトロポリタン盛岡 本館	2019.07.26
報告事項	第 51 期事業年度（上半期）における事業の経過について	
その他	指定検定機関の指定申請について 東北北海道計量大会について 当センター設立 50 周年記念事業について 大型トラック（検重車）の更新について	

③監査会

一般社団法人計量計測技術センター 事務所	2019.01.30
2018 年度第 50 期事業収支決算の監査及び業務監査	

4. 事業

(1) 計量及び計測管理に関する知識の普及及び情報提供に関する事業

①計量記念日事業

- 1) けいりょう標語の募集 2019.07.05
第 37 回「けいりょう」標語募集について、計量記念日と計量強調月間に関連して一層の計量に関する知識の普及啓発を図るため、消費生活の向上並びに製造・流通上の品質管理の推進と、最近関心の高い地球環境保護にかかわる環境保全対策に関する標語を広く県民から募集し、257 作品の中から審査会において岩手県知事賞を含む 7 点の入選作品と 3 点の佳作を選出して表彰した。また、入選作品を 7 種類の標語ステッカーとして作成し、約 220 事業所に配布した。
- 2) 「計量記念日ポスター」、「計量のひろば」の配布 2019.10.25
計量記念日全国統一ポスター及び冊子「計量のひろば」（日本計量振興協会作成）を約 220 事業所に配布し、計量に関する知識の普及啓発を推進した。
- 3) 新聞広告の掲載 2019.11.01
11 月 1 日の計量記念日に合わせて岩手日報朝刊に広告を掲載し、広く県民に計量の意義、計量制度の重要性を普及啓発した。

②講習会、セミナーの開催

- 1) 盛岡市が主催する計量担当者実務研修会へ講師を派遣し協力した。
(受講者 51 名) 2019.02.08
- 2) 主任計量者講習の開催（計量証明事業）
計量証明事業を行う事業所における有資格者（主任計量者）の確保と養成を図るための講習会を開催した。(受講者 32 名) 2019.03.13
- 3) 計測管理セミナーの開催
ISO9000s において、計測管理に関わる要求事項が一つの重要な要素となっており、計測管理にとどまらず品質保証においても重要な「測定の不確かさ」の評価方法について実習も含めて研修し、各事業所の計測管理技術及び品質保証の向上等を目的としたセミナーを開催した。(第 22 回計測管理セミナー)
講習内容 「易しい不確かさ入門」 受講者 15 名
共催 地方独立行政法人岩手県工業技術センター
会場 岩手県工業技術センター 2019.09.12

4) 中小企業向け測定基礎研修会の開催（第9回）

主に県内の中小企業を対象に、測定の基礎知識・技術を研修する機会を設け、物づくり現場における技術者として必要な測定の基本的な知識・技術を習得し、企業内の設計、製造、品質保証に生かすことを目的とした研修会を開催した。

後援 地方独立行政法人岩手県工業技術センター

会場 岩手県工業技術センター 受講者 21 名 2019.12.11

③会報「けいりょういわて」の発行

年 2 回 会員、計量行政機関、関係事業所に 300 部配布した。

No. 62 号 2019.08.01

No. 63 号 2019.12.16

④ホームページによる情報提供の充実

計量に関する正しい知識及び技術等の普及と事業内容や校正品目の広報のため、最新情報に基づく情報提供の充実に努めた。 URL <https://www.kryo.jp/>

(2) 計量法に基づく特定計量器の定期検査、検定作業等に関する受託事業

①行政機関からの受託業務に係る適正な業務システムの運用と円滑な業務の実施

1) 特定計量器の検定作業等受託業務

2019年1月1日～2019年12月31日

業務内容	個数	対前年比 (%)	2018	2017	2016
質量計検定	848	90.6	936	746	663
燃料油メーター等検定	1,036	88.4	1,172	943	1,341
血圧計検定	11	275.0	4	22	4
タクシーメーター装置検査	2,337	96.9	2,412	2,432	2,483
基準器検査	192	97.5	197	195	250
合計	4,424	93.7	4,721	4,338	4,741

※対前年比：2018年実績（1/1～12/31）との個数の比

2) 指定定期検査機関としての特定計量器の定期検査

岩手県対象地域 県北地区（延べ50日）

盛岡市対象地域 北部地区（延べ18日）

地域	事業所数	個数	対2017年比 (%)
岩手県 県北地区	1,101	1,979	85.1 (85.0)
盛岡市 北部地区	337	528	98.3 (100.3)
合計	1,438	2,507	87.6 (88.2)

※対2017年比：対象地域が同じ2017年実績との個数の比(事業所数の比)

②特定計量器の定期検査に係る事前調査

盛岡市北部地区を対象に調査を実施（調査対象件数約660件）

(3) 計量関連機関との連繋及び交流に関する事業

①東北六県北海道計量協会事務局長会議へ出席（秋田市） 2019.02.07

②一般社団法人日本計量振興協会の定時総会へ出席 2019.05.30

③東北・北海道計量大会の開催（岩手県）

東北六県北海道計量協会長・同計量士会長合同会議及び

東北・北海道計量大会及び第 68 次東北六県北海道計量協会連合会総会 2019.10.03

④東北・北海道計量士会

第 41 回目の東北・北海道計量士協議会、研修会へ参加（秋田市） 2019.12.18 ～ 19

(4) 計量士による代検査及び管理検査に関する事業

①定期検査対象地域における計量士による代検査業務の実施

②計量自主管理事業所に対する管理検査業務の実施

計量器検査及び量目検査、管理指導等の業務

③土木関係事業所における計量計測機器類の検査・校正業務の実施

配合用計量器の検査及び試験用計量計測機器類の検査・校正の業務

④適正計量管理事業所における計量管理業務の実施

計量器検査及び量目検査、管理指導等の業務

⑤第 47 回農協関係における計量管理に係る協議会を開催

2019.03.14

⑥第 44 回 J I S ・品質管理講習会の開催

2019.06.13 ～ 14

岩手県内の生コン工場を対象に、JIS 規格及び計量管理を内容とする講習会を宮古市で開催した。（岩手県生コンクリート工業組合共催 参加 46 工場）

⑦代検査及び管理検査等の実績

2019 年 1 月 1 日～ 2019 年 12 月 31 日

業 務 内 容		事業所数	個 数	対前年比 (%)
計量士による 代 検 査	岩手県・盛岡市	916	3,800	100.8 (99.6)
	県 外	334	965	62.8 (49.8)
計量管理検査		669	6,717	109.8 (110.9)
土木関係事業所における検査・校正		182	476	100.4 (100.6)
適正計量管理事業所の管理検査		11	419	101.2 (100.0)
日本郵政関係		243	428	103.9 (106.6)
合 計		2,355	12,805	-

※対前年比：代検査は 2017 年実績 (1/1 ～ 12/31)、他は 2018 年実績 (1/1 ～ 12/31) との個数の比 (事業所数の比)

(5) 計量機器及び計測機器の試験及び校正に関する事業

① JCSS 登録事業者（国際 MRA 対応認定事業者）として適正な校正事業を実施

1) 認定機関による登録更新審査

2019.05.15 ～ 16

質量区分について、ISO/IEC17025：2017 への移行後初の認定機関による登録更新審査が行われ、書類審査及び現地審査を経て認定基準への適合が確認され、登録更新と国際 MRA 対応認定更新について問題ないことが認められた。

2) 技能試験

当センターの技能試験参加計画 (5 カ年計画) に基づき、2019 年度は登録している全ての区分において技能試験の参加の予定はなかった。

②登録範囲以外の計量計測機器類の試験及び校正業務の実施

計量のトレーサビリティを確保した常用参照標準及び機器類を整備し 適正なマネジメントシステムにより校正業務を実施した。

③校正実績

2019年1月1日～2019年12月31日

分類	種類	事業所数	新規	個 数	対前年比 (%)
JCSS 校正	ブロックゲージ	69	13	1618	156.2
	一軸試験機	107	0	107	100.0
	分銅	160	28	1,538	122.6
	はかり	42	4	134	126.4
	小 計	378	45	3,397	135.7
一般校正	温度計、圧力計、 長さ計、力計、 トルク機器等	459	69	1,395	94.1
	合 計	837	114	4,792	120.3

※事業所数：JCSS 校正（はかり）以外は延べ事業所数 ※対前年比：2018年実績（1/1～12/31）との個数の比

④関連する計量標準の協議会、連絡会議への参画

- 1) ISO/IEC17025 の改正に関する説明会に出席した。 2019.02.27
- 2) 質量標準トレーサビリティ研究会・JCSS 技術管理者意見交換会に出席した。 2019.03.19

(6) 計量法に基づく指定検定機関に関する事業

- 1) 指定検定機関の申請に係る事前相談を行っている。
- 2) 自動はかりが計量法の規制対象(検定)になることに係る説明会の実施
自動補足式はかりに係る説明会を岩手県と共催で実施した。 2019.03.06
参加者 46社 55名 会場：岩手県工業技術センター 大ホール
- 3) 自動補足式はかりの計量管理（使用中検査）及び検定実機研修会に出席した。
(仙台市) 2019.07.23
- 4) 指定検定機関講習（充填用はかり・ホッパースケール）を受講した。 2019.12.10～12

(7) その他当センターの目的を達成するために必要な事業

①当センター設立 50周年記念事業の実施

- 1) 座談会 2019.05.20
会長、副会長、元会長等7名出席の下、ホテルメトロポリタン盛岡本館にて開催した。
- 2) 記念式典 2019.11.22
当センターの第2種正会員の中から9社に感謝状を贈呈した。
- 3) 記念講演 2019.11.22
(株)タニタの代表取締役社長 谷田氏による、「健康をつくる」タニタの挑戦～日本をもっと健康に「健康をはかる」を超えて～と題しての講演を実施した。
- 4) 記念誌の発行 2019.12.15
記念誌 200部作成し、会員、関係機関等に配布した

②地方計量行政機関の業務に対する協力

- 1) 岩手県計量センター（岩手県商工労働観光部商工企画室）主催の2019年度市町村計量事務担当者会議に出席し、指定定期検査機関として定期検査及び代検査について説明した。 2019.04.24

③計量士の養成及び資質向上と職員の力量の向上

- 1) 計量研修センター（一般計量特別教習）を受講した。 2019.01.10 ～ 03.08
- 2) 公益社団法人ボイラークレーン協会主催の玉掛け技能講習を受講した。
2019.02.12 ～ 02.15
- 3) 一般社団法人日本計量振興協会主催の ISO/IEC17025 内部監査員研修講座を受講した。
2019.07.04 ～ 07.05
- 4) JCSS 登録区分毎に内部で行う技能評価試験を実施し、校正の技術的能力の確認を行った。
- 5) 定期的に社内研修を開催し、品質目標の周知等を行うとともに、外部研修による知識や情報の共有化を図った。

④一般社団法人日本計量振興協会が行う事業への協力

- 1) 第 17 回全国計量士大会(福岡市)を協賛するとともに計量士部会委員として開催運営に協力した。 2019.02.22
- 2) 第 18 回全国計量士大会(東京都)に向け、計量士部会委員の委嘱を受けるとともに、年 3 回の部会に出席した。
2019.04.26
2019.07.09
2019.09.25
- 3) 2019 年度 郵政計量管理業務講習会・意見交換を、青森県・岩手県の計量士 13 人が集まり、当センター会議室で実施した。 2019.06.12
- 4) 自動はかりの計量管理推進委員会委員の委嘱を受けるとともに、委員会に出席した。 2019.10.18